

## 2. 多文化共生事業

### (4) 多文化共生オフィス運営（多言語相談）事業

熊本市国際交流会館に開設した多文化共生オフィスにおいて、多言語での相談、法律相談、出入国に関する相談を実施しました。また、必要に応じて外国籍児童とその保護者のための教育相談を受け付け、情報提供、アドバイスを行いました。

相談件数 3,615 件

※特に国際結婚に伴う離婚・DV相談等、一回の相談では解決できない複雑な内容が多くありました。

多文化共生オフィスオープン時間 11:00～18:00

●日本語、英語、中国語、フランス語	随 時	9:00～17:00
●中国・中国語	毎週火曜日	13:00～17:00
●ドイツ・ドイツ語	毎週水曜日	13:00～17:00
●韓国・韓国語	毎週木曜日	13:00～17:00
●アメリカ・英語	毎週金曜日	13:00～17:00
●タガログ語	第2水曜日	13:00～17:00
●スペイン語	第1金曜日	13:00～17:00
●韓国人のための生活相談	第3水・木曜日	13:00～17:00
●中国人のための生活相談	毎週水・金曜日	13:00～18:00
●フィリピン人のための生活相談	第1木曜日	13:00～17:00
※相談員の帰国に伴い平成23年9月末で中止		
●出入国管理法及び難民認定法に関する相談*	第1水曜日	13:00～15:00
●外国人のための無料法律相談*	第3土曜日	14:00～16:00
*前日の午前中までに要予約		

※相談員を対象に新在留管理制度に対する知識を深めるため、概要や変更点等相談を受ける際のポイントなどについて研修会を実施しました。

日 時：平成24年3月12日（月）10:00～12:00

場 所：国際交流会館2F交流ラウンジ

### (5) 多文化共生のまちづくりサポート事業

#### ①多文化共生ソーシャルワーカー活動

外国人の在留形態の多様化や在留期間の中長期化に伴い、彼らの抱える課題、直面する問題が複雑化している中、それら課題や問題の解決までをサポートする為、各種公的機関や民間の支援団体と協力、連携をはかりました。

活動件数：19件

【国籍別】

中国	インドネシア	フィリピン	インド	タイ	ベトナム	ドイツ
12	1	2	1	1	1	1

【性別】

女	男
12	7

【相談内容】

医療（通訳含む）	1	生活	5	国際結婚・離婚	1	精神保健	4
教育（編入・不登校）	4	事件・事故	1	就労	1	DV	2

②多文化共生地域サポート事業

健康保健福祉センター等の依頼に応じ、地域活動へ同行し、多言語で在住外国人の健康、生活、子育て等のサポートを行いました。

また、月に一度相談員等関係者が集まり、情報の共有化を図ると共に、サポートのあり方について話し合いました。研修及び情報収集の一環として、講演会やセミナーに参加しました。

サポート件数：32件

【研修会の実施】

回	日付	曜日	内 容	講 師
1	11月14日	月	住民基本台帳法改正（外国人住民制度）について	市民課 情報政策課
2	11月22日	火	あんしん住み替え相談員育成講座 住宅事情について～日本と中国の違い～	KIF 相談員 谷尾 陽子
3	12月15日	木	政令指定都市移行に向けた在住外国人対応のための担当者会議	熊本市

【外部講演会・セミナーへの参加】

回	日付	曜日	内 容	講 師	主催
1	5月21日	土	多文化共生社会を目指して 「100年前から100年後」 －在日100年の流れの中に見る日本社会－	辛 淑玉(しん すご)氏 (人材育成コンサルタント)	コムスタカ －外国人と共に生きる会－
2	6月23日	木	新しいグローバリズムの模索 多文化共生 ～国際結婚を通して～	ジェイソン・R・クーバス氏 (在福岡米国領事館首席領事)	熊本学園大学
3	8月24日	水	“言葉と差別” どんな言葉に人は傷つくのだろう	穀雨企画室 渡辺 毅氏 (人権啓発 NPO 法人職員)	熊本市人権啓 発市民協議会
4	9月9日	金	中国の不動産事情	李 墨竹氏(前国際交流員)	宅建中央支部 桜会

③多文化共生写真展 “外国人の方々からのメッセージ”

国内外から寄せられた熊本との関係や思い出についてのメッセージ、在住外国人の方々の書道作品、また、K I F の多文化共生社会づくりへの取り組みと熊本市における外国人登録者数等の実情についてのパネルを展示しました。

期 間：平成 24 年 2 月 1 日（水）～2 月 29 日（水）

場 所：国際交流会館 1F エントランスホール



## (6) 日本語支援事業

### ①くらしのほんごくらぶ

熊本での生活上で必要な日本語をマスターし、地域社会の生活に早く順応するために、日本の生活習慣や日本語を学ぶ機会を提供しました。その他、文化にふれあう機会や学習発表を通して交流をしました。

更に、生活日本語支援ボランティアを対象とした研修会を実施しました。

活 動 日：毎週水曜日、日曜日 10:00～12:00、14:00～16:00、

(水曜日の夜間 18:30～20:00 は予約制)

学習者数：延べ 3,713 人

活動ボランティア：延べ人数 3,005 人

場 所：国際交流会館 2 F ミーティングルーム

参 加 費：無料（雑費として一人 100 円 / 日を徴収）



### ●冬の学習発表会と交流会

日 時：平成 23 年 12 月 18 日（日）16:00～18:00

場 所：国際交流会館 4 階第 3 会議室及び厨房

参加人数：40 名（外国人 28 人・ボランティア等 12 人）



### ●日本文化体験（茶道）

日 時：平成 24 年 1 月 8 日（日）10:00～14:00

場 所：国際交流会館 2 階ミーティングルーム及び 5 階茶道室

参加人数：40 名（外国人 24 人・ボランティア等 16 人）



### ●巻きすし日本語交流会

日 時：平成 24 年 3 月 25 日（日）10:00～13:00

場 所：国際交流会館第 3 会議室及び厨房

参加人数：40 名（外国人 25 人・ボランティア等 15 人）



●ボランティア研修会：

日 時：①平成 24 年 2 月 29 日（水）14:00～16:00

②平成 24 年 3 月 4 日（日）14:00～16:00

場 所：①国際交流会館 3 F 国際会議室

②国際交流会館 4 F 第 1 会議室

参加人数：延べ 26 人

テ ー マ：改定入管法の施行とその影響

講 師：中島 眞一郎氏（コムスタカー外国人と共に生きる会代表）



②外国人生活者のための日本語漢字教室

国際結婚や留学生の家族として熊本に在住する非漢字圏からの外国人生活者を対象に、漢字学習に特化した小学 1・2 年生コース・3 年生コース、6 年生コースの 3 コースを開講しました。

参 加 費：無料（雑費として一人 100 円 / 回を徴収）

●1 年生・2 年生コース

期 間：平成 23 年 9 月～平成 24 年 4 月 毎週火曜日

10:00～11:30

場 所：国際交流会館 5 F 小会議室（洋）

講 師：生活日本語支援ボランティア

学習者数：85 人



●3 年生コース

期 間：平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月 毎週木曜日

10:30～12:00

場 所：国際交流会館 2 F ミーティングルーム

講 師：生活日本語支援ボランティア

学習者数：90 人



●6 年生コース

期 間：平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月 毎週木曜日

10:00～11:30

場 所：国際交流会館 2 F NGO コーナー

講 師：K I F 職員

学習者数：89 人

③中国帰国者のための日本語教室

熊本市に多く在住している中国帰国者の方々の生活を支援する一環として日本語教室を開講しました。

期 間：平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月 毎週火曜日 19:00～21:00 48 回 / 年

場 所：国際交流会館 4 F 第 2 会議室他

講 師：堂園 和子氏（熊本県中国残留孤児等対策協議会）

学習者数：延べ 322 人

参 加 費：無料



#### ④地域日本語教室の開設と運営サポート

##### ●地域日本語教室 “健軍教室”

開催日：毎週月曜日 10:30～12:00

場 所：よって館ね（健軍商店街ピアクレス内）

講 師：生活日本語支援ボランティア

学習者：延べ47人

参加費：無料

##### ●地域日本語教室 “武蔵ヶ丘教室”

開催日：毎週火曜日 10:00～11:45

場 所：寄り道（武蔵ヶ丘団地内）

講 師：生活日本語支援ボランティア

学習者：延べ174人

参加費：有料



#### ⑤日本語教育プログラム作成&初期日本語集中講座（受託事業）

##### ●日本語教育プログラム開発

熊本県より委託を受け、熊本県内に暮らす在住外国人のニーズに合った生活日本語教育プログラムの開発を、熊本県立大学日本語日本文学科馬場研究室と共同で開発しました。

県内でのフィールド調査をもとに、作成したテキストをくらしのにはんごくらぶ等で検証し、日本語テキストを作成しました。

- 内 容：・仕事に就きたい人のための日本語（仕事）  
・もしも病気になったら けがをしたら（病院）  
・緊急時に備えよう（地震・台風）

##### ●初期日本語集中講座「はじめての日本語」（一週間連続の講座）

日本語ゼロ初級の在住外国人を対象とした初級日本語集中講座を実施いたしました。

期 間：①平成23年10月30日（日）～11月6日（日）／11月2日は休講

②平成23年11月26日（土）～12月4日（日）

11月28日（月）・12月1日（木）は休講

③平成24年1月29日（日）～2月5日（日）／2月1日（水）は休講

④平成24年2月25日（土）～3月4日（日）

2月27日（月）・3月1日（木）は休講

時 間：9:30～16:30（12:30～13:30 お昼休み）

場 所：国際交流会館2Fミーティングルーム他

対 象：日本語を勉強したことのない外国人

参 加 費：1,000円（教材費込）/回

参加人数：①7人 ②6人 ③9人 ④5人



## (7) 多言語情報提供事業

### ① 市政だよりの多言語化

語学（情報）ボランティア登録者の協力で、市政だよりの生活・催し・健康の中から在住外国人にとって必要な情報を英語、中国語、韓国語に翻訳し、ホームページ上へ掲載しました。

### ② 多言語防災メール

熊本市災害情報メールから発信された情報を基に警報以上の情報が発信された場合に日本語・英語・中国語の3カ国語で防災メールを配信しました。

登録者数 152人（内訳：日本語 39人 英語 92人、中国語 21人）

## (8) 外国人のための防災訓練

### ① 災害多言語支援センターの立ち上げ訓練

災害多言語支援センター立ち上げマニュアルに沿って、当該センターを立ち上げる際の問題点や課題などをワークショップ形式で話し合った。立ち上げのタイミング、行政との連携、責任の所在、スタッフの補償問題など、今後に備えた話し合いをしました。

日 時：平成23年8月9日（月）10:00～12:00

場 所：熊本市国際交流会館2階交流ラウンジ

### ② 外国人のための防災訓練&避難所体験

熊本市危機管理防災総室、中央消防署の協力のもと外国人のための防災訓練・避難所体験を実施しました。消火器の使い方から避難所で受けられるサービスの説明、非常食体験、起震車体験をしました。午後からは、身近な地域における危険個所の確認を行いながら、地域を散策しました。

日 時：平成23年11月27日（火）10:30～14:30

場 所：黒髪小学校体育館及び運動場

参加人数：在住外国人8人（インドネシア、韓国、中国、キルギス）

関係者19人（消防署員5人、危機管理防災室4人、北保健福祉センター1人、市国際室1人、黒髪地区自治会1人、行政書士1人、職員6人）



## (9) 多文化共生クラスター

熊本県立大学の学生と共に、多文化共生社会の実現に向け、外国人を取り巻く問題について、特に、子どもの教育、各国の移民制度などをテーマに学習会を開催した。この多文化共生クラスターの取り組みについては、多文化共生シンポジウムの中で報告発表しました

日付	曜日	講師	テーマ	参加人数
平成23年 4月21日	木	上田真実 (KIF 職員)	平成 23 年度事業計画及びテーマ設定	13 人
5月27日	木	中島眞一郎氏 (コムスタカー外国人と共に 生きる会代表)	出入国管理法変更とその後 (入国管理、特に改正→住民基本台帳へ外国人 が記載されるということ)	9 人
6月16日	木	上田真実 (KIF 職員)	出入国管理法変更とその後についての振り返り	4 人
7月23日	土	山田泉氏 (法政大学教授)	日本語カリキュラム開発について	22 人
9月15日	木	日高マリナ氏・朱玉梅氏・ 谷尾陽子氏 (KIF 相談員)	在住外国人への情報のあり方について	13 人
10月20日	木	上田真実 (KIF 職員)	外国人の防災について	10 人
11月17日	木	熊本県立大学学生	日本語教育プログラム開発について (中間発表)	11 人
12月22日	木	羽賀友信氏 (KIF アドバイザー)	震災	25 人
平成24年 1月19日	木	上田真実 (KIF 職員)	多文化共生シンポジウムの最終打ち合わせ 1	11 人
2月15日	木	上田真実 (KIF 職員)	多文化共生シンポジウムの最終打ち合わせ 2	11 人
2月18日	土	P16 の多文化共生シンポジウムを参照		101 人
3月15日	木	上田真実 (KIF 職員)	H23 年度の振り返り及び多文化共生シンポジウム反省	7 人
合 計				237 人



## ●多文化共生シンポジウム

多文化共生社会の実現に向けた啓発のため言語教育にスポットを当て、日本語教育と移民先進国といわれる韓国、ドイツとの比較検討を行い言語保証について考えるシンポジウムを開催しました。

日 時：平成 24 年 2 月 18 日（土） 14:00 ～ 17:30

場 所：熊本県立大学 中ホール

内 容：

- ・多文化共生クラスターの学習報告

報告者：加賀直子氏（熊本県立大学日本文学科）

- ・発 表：熊本県における「生活者としての外国人のための日本語テキスト作成」報告

報告者：村田優里奈氏 森永雅代氏 金栗玲佳氏（熊本県立大学日本文学科）

※このテキストは、熊本県の委託を受けて多文化共生社会づくりの推進事業の一環として作成しました。

- ・事例発表：①韓国における多文化家族への言語教育

発表者：申明直氏（熊本学園大学教授）

- ②ドイツにおける移民者への言語教育

発表者：フローリアン アクスト氏（元熊本市ドイツ国際交流員）

- ③熊本における在住外国人への日本語教育支援

発表者：岩谷美代子氏（中国帰国・外国人生徒の進学を支援する会）

コメンテーター： 山田泉氏（法政大学教授）、

馬場良二氏（熊本県立大学教授）

- ・まとめ

参加人数：101人

参 加 費：無料

共 催：熊本県、公立大学法人熊本県立大学





## (10) 子どもの教育を考える会

### ●中国帰国・外国人生徒と保護者のための進路ガイダンス in 熊本

国際結婚、労働等で来日する外国人、中国帰国者の保護者によって、母国から呼び寄せられる外国籍の子どもたちや日本国籍であるが外国にルーツを持つ子どもたちが増加する中、生徒とその保護者を対象に日本の教育システムや高校受験時の特別配慮などについて詳しく説明するガイダンスを中国帰国・外国人生徒を支援する会と共催で実施しました。

日 時：平成23年7月10日（日）13:30～16:30

場 所：国際交流会館 4階第3会議室

参加人数：111人（中学生18人、保護者20人、小中高教師31人、通訳12人

先輩高校生9人、スタッフ（ボランティア大学生・日本語教師など）17人

県市教育委員会2人、他2人

参加費：無料

### ●黒髪小学校日本語センター校との連携

熊本市の小中学校に通う日本語初期指導が必要な生徒への日本語学習を実施している黒髪小学校と連携を図りました。日本語指導開講式時におけるK I F事業の紹介、保護者への通訳、また、イスラム教家族への給食や体育（プール）など日本の学校システムについて説明を行いました。



### 【多文化共生月間】

2月を多文化共生月間と位置付け、市民の多文化共生に対する理解と啓発を促すため熊本の多文化共生の現状を知るための様々な事業及びイベント等を実施いたしました。

#### 1. 多文化共生写真展 ～ 外国人の方々からのメッセージ ～

P 10 ③多文化共生写真展を参照

#### 2. 図書展示 ～多文化共生に関する書籍を紹介、展示しました。

期 間：2月1日（水）～29日（水）午前9時～午後8時

場 所：熊本市国際交流会館 2階交流ラウンジ

#### 3. 世界の動きを知るセミナー ～ イスラムの生活 ～ （共催事業）

P 37 2. NGO支援事業の実施 ラウンジイベントを参照

#### 4. 多文化共生シンポジウム ～ 地域住民としての外国人と日本語 ～

P 16 多文化共生シンポジウムを参照

#### 5. 外国人のための和食教室

P 43 を参照

#### 6. 留学生成果発表会

P 37 2. NGO支援事業の実施 ラウンジイベントを参照